

センターニュース Center News

私たちは、質の高い医療の実践を通して社会に貢献します。

発行者／帝京大学ちば総合医療センター 千葉県市原市姉崎3426-3 TEL.0436-62-1211(代表)
URL <http://www.med.teikyo-u.ac.jp/~chiba/>

Vol.132
2024年8月



外来診療の手続きについて

■診療科目(23科目)

内科 循環器内科 脳神経内科 外科 整形外科 産婦人科 小児科 眼科 耳鼻咽喉科 皮膚科
泌尿器科 メンタルヘルス科 放射線科 脳神経外科 麻酔科(※) リハビリテーション科
心血管外科 形成外科 歯科口腔外科 消化器外科 病理診断科 消化器内科 救急科

■初診の方法(当センターに初めて受診される方)

本館1階、初診受付にて診療申込書をご記入のうえ、保険証(紹介状・各種公費負担受給者証をお持ちの方は一緒に)・身分証明書(写真付き)を添えてお申し出ください。

受付時間
平日8:30～14:30 ※皮膚科・形成外科・歯科口腔外科・整形外科 8:30～11:30 / 脳神経内科 水曜日 11:00～
(休診:皮膚科 火曜日/形成外科 火・木曜日/整形外科 水曜日/脳神経外科 木曜日/歯科口腔外科 金曜日)
メンタルヘルス科 水曜日午後/脳神経内科 火曜日/眼科 木曜日
土曜日8:30～11:30 ※脳神経内科・歯科口腔外科・形成外科 8:30～10:30 (形成外科は急を要する疾患のみ)
(休診:整形外科・皮膚科・眼科)
眼科 完全予約制 / 皮膚科 初診患者は完全予約制 / 整形外科の土曜診療は原則予約制

初診受診についてお知らせ

皮膚科・眼科では医師の減員に伴い初診患者さんにつきましては、他院より紹介状をお持ちの患者さんのみの受付とさせていただきます。ご迷惑をおかけ致しますが、ご理解ご協力の程お願い申し上げます。

選定療養費についてのお知らせ

初診時選定療養費…7,700円(税込)	再診時選定療養費…3,300円(税込)
紹介状を持たずに当センターを初診で受診される場合に、保険診療分と別途ご負担いただく費用	病状が安定し、当センターがかりつけ医への紹介を申し出ても、引き続き当センターを受診希望される場合に、保険診療分と別途ご負担いただく費用

■再診の方法(2回目以降の診察の場合)

再来受付機にて受付後各々の受診科の受付に診察券と受付票をご提出ください。
再来受付機の受付は診察券が必要となりますので、必ずご持参ください。
受付時間については、予約制となっている科がありますので、受診されている科の受付でご確認ください。

■休診日 日曜日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)・創立記念日(6月29日)

交通経路ご案内

電車

- JR内房線「姉ヶ崎駅」東口下車、駅前からバス停①番のりば「帝京大学総合医療センター(青葉台)」行きで約15分。

お車

- 東京方面から館山自動車道市原出口(大多喜・勝浦方面へ出て、国道297号バイパスを姉崎方面へ右折)から10分。
- 木更津方面から、館山自動車道姉崎袖ヶ浦出口から約15分。

至鴨川 姉崎・袖ヶ浦I.C. 至木更津 GS ミニストップ ホンダ 信金 変電所 姉崎神社 平成通り 至長浦 至五井 ガスト 信金 博全社 ケンタッキー JR内房線 五井駅 姉ヶ崎駅 至千葉・東京 国道16号線 自動車教習所

「看護が関わる専門外来について」

内科外来
岡田 美奈子

看護外来	時間	問い合わせ場所
がん相談外来	午後 *予約制	各科外来
助産外来	午後 *予約制	産婦人科外来
すこやか親子相談室	午後 *予約制	産婦人科外来
産後2週間検診	午後 *予約制	産婦人科外来
母乳外来	初回急患受付 *予約制	産婦人科外来
弾性ストッキング圧迫療法	*予約制	皮膚科・形成外科外来
ストーマ外来	*予約制	外科外来・泌尿器科外来
腎代替療法外来	*予約制	内科外来
禁煙外来	1コース:5回 *予約制	内科外来
外来糖尿病教室	1回/月 *予約制	内科外来
糖尿病合併症予防外来	午後 *予約制	内科外来

当院は、専門的知識をもつ認定看護師や看護師が、各診療科の医師と連携し、日常生活、治療や療養について、生活全般のケアや指導・相談・情報提供などを行う看護外来があります。当院で行っている看護外来についてご案内します。

専門的知識をもつ看護師が、患者さんに合わせた支援を考えていきます。おひとりで悩まず、まずはご相談ください。



「院内ICLSコース開催」

LEC病棟
三宅 君予

今年度は3回の開催を予定しており、1回目を開催しました。

ICLSコースとは、「突然の心停止に対する最初の10分間の適切なチーム蘇生を習得する」ことを目標としたコースです。

日本では、心臓が原因での心停止は年間約8万に及ぶとも言われており、突然の心停止から1分ごとに救命率は7～10%下がっていきます。

大切な命を救いたくても、救命は一人ではできません。

少しの猶予もない中で、大切な命を救うためにはチーム蘇生が必要となってきます。

「その時」慌てず対応するために全ての医療者に必要とされる知識と技術であり、当センターでは医師・看護師に限らず、あらゆる領域の医療者が習得できることを目指してICLSコースを開催しています。

その為にも院内インストラクターの育成にも尽力し病院全体で取り組んでいます。

1人1人が「誰かの大切なひと」です。その大切な命を守り突然の心停止であっても命を繋ぐために、全職員の知識と技術の習得を目指して今後も活動していきます。



「看護の日イベント」に参加して

9A病棟
恩田 亜希子

5月12日(日)にユニモにて、看護学生さんや教員の方々と共に看護協会主催の「看護の日イベント」に参加させていただきました。乳がんのセルフチェックや骨密度測定、キッズ白衣体験などのブースが設けられ、私はAED体験を担当させて頂きました。「家族に持病があるからいざという時のために力になれるように・・・」という思いを持って来られた方や、キッズ白衣体験に親御さんと一緒に来られた小中学生、仕事をしていて身近に感じているからと言って参加された介護士さん、さまざまな方との出会いがありました。応援の呼び方や意識や脈の確認、心臓マッサージ、AED体験をして頂き、「思ったよりも簡単でした。」「ずっと気になっていたので、教えてもらえてよかったです。」などのお言葉を頂きました。

救命の場面はいつでもどこでも誰にでも起こります。命を救うためには、何よりも第一発見者が直ちに処置をすることが大切です。このような「命」に触れる機会が

多くあることで、救命 処置が誰にとっても身近なものであって欲しいと思います。



「当センターの看護師の表彰」

10A病棟
後藤 和佳子

当センターの看護師の活躍が様々な方面から御評価いただいたため近年の御報告をしたいと思います。

2023年度

●千葉県看護功労者知事表彰
入江 昭子 看護部長

●千葉県看護協会会長表彰
佐藤 朗子 看護師長
松下 純子 看護師長
西村 理恵子 看護副主任
恩田 亜希子 看護師

2024年度

●病院長表彰
入江 昭子 看護部長

●病院長表彰(人命救助)
濱田 優美 看護師長

●千葉県看護協会会長表彰
山崎 香奈子 看護主任
関 加代子 看護主任
分目 裕子 看護師
佐竹 緑 看護師
吉井 真知子 看護師



清水 千佳子 看護主任
木村 かつら 看護師
原田 結美 看護師
平田 美穂 看護師
佐々木 奈穂 看護師

以上の看護スタッフが表彰されています。
今後も帝京大学ちば総合医療センター看護師はあかいくま精神で活躍していきますので御期待ください。



リハビリテーション部
有坂 勇飛

少しずつ積み重ね、日々成長

入職当初は理学療法士としての診療のみならず、社会人としての責任の重さに不安を抱いていました。入職して3ヶ月経過する現在も多くの不安はありながらも、理学療法士として患者様に関わらせていただく事へのやりがいを感じています。
先輩のご指導の下、日々成長を感じていますが、患者様に良質なリハビリテーションを提供するためには、さらなる成長が求められると思います。少しずつ積み重ね、日々成長していきたいと思っています。



薬剤部
滝口 貴晴

大学病院の薬剤師として

4月から新入職員として働き始め、現在は調剤業務を主に、臨床、実務の知識や技術を身に付けています。業務は多岐にわたり覚えることも多いですが、先輩薬剤師から多くのことを学び、その姿を目指して日々頑張っています。学んだことを活かして、これから始まる病棟業務やチーム医療に取り組みます。今後は、最新の薬物治療や専門的に学びたい分野の研究にも注目し、より良い医療、薬物治療の提供に貢献したいと思っています。



当センターに4月に入職した職員の「今まで」とこれからをご紹介します。



リハビリテーション部
本木 智也

作業療法士としての土台を作る

作業療法士として入職してから3ヶ月が経ちました。初めは基本業務を覚えることで精一杯であっという間に月日が過ぎていきました。4月は先輩方の見学をし、徐々に自分で患者様を担当するようになり、リハビリの難しさを改めて感じています。1年目で分からない事が多くありますが、そこで諦めずにまずはやってみることが大切だと考えています。失敗を恐れず、作業療法士としての土台を作ることが出来るように日々精進します。



リハビリテーション部
長綱 優南

患者様に寄り添ったリハビリ

4月より入職して3ヶ月が経ちました。入職してすぐは慣れないことが多く、早く慣れないといけないという焦る気持ちがありました。また、日々患者様と接する中で、コミュニケーションや患者様に合ったリハビリテーションを提供することの難しさを痛感しました。先輩方の指導の元、少しずつではありますが今では患者様に合ったリハビリテーションを提供することができてきていると感じています。これからも患者様に寄り添ったリハビリテーションを提供できるよう、成長していきたいと思っています。



臨床工学部
伊藤 樹

日々1歩1歩コツコツと前進

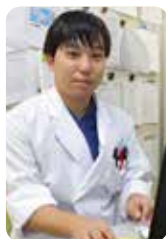
4月より臨床工学技士として従事し始め、あっという間の3ヶ月が経過しました。
入職する前は新しい環境に身を置くことや新社会人として働くことに不安を感じていましたが、部内の先輩方や他職種の方々にとっても真摯に丁寧に暖かく接して頂いてすぐにその不安は無くなりました。
入職して1ヶ月目は基本的な業務や一日の流れを掴むのに精一杯でしたが先輩方の丁寧な指導により日に日にやれることが増えていきました。少しでも早く一人前の臨床工学技士になれるよう日々1歩1歩コツコツと前進して行きたいと思っています。



医事課
診療録管理室
岩橋 美紅

感謝を忘れず日々精進

4月に入職してから早3か月が経ちました。学生時代とは生活が大きく変わり戸惑うこともありましたが、3か月が経ち新しい環境にも慣れ、先輩方が私にあったペースでゆっくり丁寧に教えてくださるため少しずつできることも増えてきました。
まだまだ分からないことばかりで先輩方に教えていただければいいのですが、少しでも早く一人前の職員になれるよう努力し、常に周囲の方への感謝を忘れず日々精進していきたいです。



検査部
杉山 直輝

学ぶ姿勢を忘れずに努力

4月に入職して早3ヶ月が経ちました。始めは慣れない環境で、日々の業務内容と手技を覚えることに必死な毎日で、不安と緊張から悩んでしまうこともありましたが、先輩方が優しく教えてくださったおかげで、日々の業務や新しい環境にも少しずつ慣れてきました。
まだまだ目の前のことに精一杯の日々ですが、学ぶ姿勢を忘れずに努力し、少しでも早く一人前の検査技師になれるよう努めて行きたいと思っています。



検査部
入江 杏香

目の前のことを精一杯

新入職員として3ヶ月が過ぎました。最初の2ヶ月は検体検査での業務を行いました。日々の業務を覚えることで必死でしたが、先輩方がフォローして下さり少しずつできることが増えていきました。
7月からは生理検査室に配属され、多くの経験をさせて頂いています。まだまだ知識が不足しているため、経験と共に勉強を続けていきます。
今は目の前のことを精一杯頑張ることで、患者さんのためになる医療を提供できるよう努力していきます。



臨床工学部
佐藤 偉奇

早く一人前になれるよう精進

4月より臨床工学技士として従事し始めて約3ヶ月経過しました。入職して今日まで長いようで短く、多くのことを学び新たな刺激を受ける日々でした。最初の頃は医療現場に立つと緊張や不安を感じることも多くありましたが、3ヶ月を過ぎて、新しい環境にも慣れ、今は先輩のご指示のもと少しずつできる仕事が増えてきて、自分の成長を実感しています。まだまだ至らないことばかりですが早く一人前になれるよう精進していきたいとおもいます。宜しくお願い致します。



医事課
初診受付係
田中 聖彩

一人前の職員として働けるよう精進

4月に入職してから、早3か月が経ちました。最初は慣れないことばかりで、不安を感じることも多くありましたが、周りの方々の支えもあり、入職当初と比べて、落ち着いて業務を行うことや、患者に寄り添ったサービスができるようになったことなどから、少しずつ自分自身の成長を実感しております。3か月経った今でも、まだまだ未熟ではありますが少しでも早く一人前の職員として働けるよう精進してまいります。



病院病理部
田口 晴丈

心機一転（入職3か月を過ぎて）

2024年3月まで17年ほど市川市の病院で臨床検査技師として、病理を含む検査業務全般と管理関係の仕事に従事してきました。4月から病院病理部に配属となり、心機一転です。新しい職場環境にて一から覚えることも多く、精進の日々を送っています。今後は前職での経験や知識を活かし、より良い環境にするべく積極的な提言や、患者のため質の良い医療を提供できるよう成長していきたいと思っています。ご指導、よろしくをお願いします。



検査部
岡田 菜津美

知識や経験を得て、一人前に

4月に入職し、早3ヶ月が経ちました。日々が学びの積み重ねで、沢山のことを吸収できるので新鮮な気持ちで前向きに仕事が出来ております。
学生時代の生活とは大きく変化し、慣れないことが多く不安と緊張の毎日ですが、先輩方の温かいご指導のおかげで、少しずつですができる業務が増えてきました。
まだまだ半人前ですが、今後もたくさんの知識や経験を得て、一人前になれるよう努力して参ります。



薬剤部
吉澤 麗香

薬物治療に貢献できる薬剤師

入職から3カ月が経過し、優しい先輩方のサポートを受けながら徐々に業務に慣れてきています。現在は調剤室で入院患者さんの内服薬や注射薬の調剤を中心に業務を行っており、様々な疾患や病態、またそれぞれに合わせた薬剤の使い方などの基礎を学んでいます。8月から病棟での研修が開始となるため、この3カ月間で学んだ調剤の基礎をもとに患者さんと良い関係を築き、有益な薬物治療に貢献できる薬剤師になれるよう精進していきます。



医事課
外来保険係
山本 奈々子

一人前の医療人になれるよう精進

入職して早3ヶ月が過ぎました。最初は、慣れない環境に戸惑うことも多い中、患者対応や医療用語を覚えるのに必死で不安を感じる毎日を送っていました。しかし係の先輩だけではなく他の先輩方も丁寧に教えてくださるので、少しずつ知識を身につけることができ、一人で行える業務も増え、自分自身成長できていることを実感しております。3ヶ月経った今でも、まだまだ未熟ではありますが日々の努力を怠らず、一人前の医療人になれるよう精進していきたいと思っています。

暦の上では立秋ですが8月に入っても厳しい暑さで体がだるくなりやすい毎日が続いていると思います。引き続きこまめに水分補給を行い、脱水症状防止に努めましょう！
今回は汗をかくことにより体に起こる変化や水分補給のタイミング、経口補水液、豆意識について紹介します。

汗をかく理由とは？

汗をかくことによって体内に溜まってしまった熱を放出し、体温をコントロールしています。

汗をかくということは、体の水分だけで無く電解質（ナトリウムやカリウムなど）も流出するので、水分補給の際には水分だけではなく、電解質も一緒にとる必要があるのです！



水分補給をするタイミングとは？

のどの渴きを感じた時にはすでに体の水分量が減っています。特に高齢者の方はのどの渴きを感じにくくなっています。そのため、のどの渴きを感じる前に水分を摂るようにして下さい。また、食事量が減る=食事からの水分摂取が減ることになります。1日3食欠かさず食べるようにしましょう！



経口補水液とは？

電解質（ナトリウム、カリウムなど）やブドウ糖などの糖分を水分中にバランス良く配合した飲料のことです。

スポーツドリンクと同じような飲み物であるとおもわれがちですが、経口補水液とスポーツドリンクには異なる点があります。

- ①経口補水液の方が電解質が多い
- ②経口補水液の方が糖質が少ない
- ③経口補水液は病者用食品、スポーツドリンクは清涼飲料水に分類される



経口補水液は、軽度～中等度の脱水症のときに飲むことが推奨されていて正常時に飲むものではありません。

一方で、スポーツドリンクは日常的に飲むことができる手軽な飲料ですが、糖質が多いため注意が必要です。

出典：『ご存知ですか？経口補水液の知識』（パンフレット、消費者庁）

実は、泳いでいる時も…

水の中にいると感じることがあまりないと思いますが、泳いでいるときも汗をたくさんかいています！

また屋内と屋外で汗をかく量も変わってくるので、必ず水分補給をしましょう！



栄養部だより

担当 古米 美里



災害医療とDMAT

救命救急センター
横井 健人



日本は災害大国です。災害時に我々医療者がどのように役割を果たしていけるか／いくべきか？この問いの答えの1つとしてDMATという災害派遣医療チームが整備されるきっかけになったのは6000名を超える死者を出した1995年の阪神淡路大震災でした。当時私は医学生でしたが、その後救急医となり災害医療に携わりたいという思いから、2012年に、災害発災直後から現地に入り救命や病院支援などの任務をこなすDMATの資格を取得しました。その前年には東日本大震災があり、日本各地からDMATをはじめとする災害医療チームが派遣されています。それから10年以上たった今年の能登半島地震に際し私はDMATとして初めて現地に行きました。地震発災直後には近隣地域から多くのDMATが派遣されていますが、順次その活動を後発隊に引継ぎ、当院からは1/12～17に第5次隊が、そして1/22～25に私も参加した第6次隊が派遣され活動を行ってきました。我々の派遣された時期は災害急性期から亜急性期に移行しつつあり、DMATの役割も主に患者搬送や避難所の調査などでした。それでも「すべては被災者のために」を合言葉に、実際に被災地で被災者と向き合い、被災者支援の一端を担った経験は貴重であり、非常に意義深いものでした。今回の災害派遣の経験も踏まえ、我々は普段から訓練を行い、近い将来必ず起こると言われている首都直下型地震や南海トラフ地震などの災害に備えていきます。



DMATの院内訓練の様子

教えてドクター

産婦人科
五十嵐 敏雄

当院での
産婦人科の
手術や分娩



産婦人科の手術や分娩はどの病院でも同じでは？

最近では、多くの産婦人科で腹腔鏡下手術をするようになってきました。しかしながら、当院の腹腔鏡下手術は他の病院の手術とは一味違います。まずは子宮筋腫や子宮腺筋症でお困りの方、当院のロボット支援下子宮全摘手術をお勧めします。近々子宮体がんでも行う予定です。操作鉗子に関節が付いていて難しい操作も可能というメリットがあります。通常手術より腹壁の穴が一つ増えますが、穴の位置を機械で固定して手術操作

をするため、術中操作で穴が動かず術後の痛みが少ないメリットもあります。今のところ費用は通常手術と同じです。次に不妊症で卵巣チョコレート嚢胞を有する方、当院の嚢胞内容液の影響を最小限にした早期妊娠を期待できる手術がお勧めです。また、卵巣奇形腫の方には当院の嚢腫内容液を漏れ難くした手術がお勧めです。術後のトラブルが減ります。どちらも当院が開発しました。さらに骨盤臓器脱の方、膣からの腹腔鏡 NOTES で子宮を摘出して膣断端を靱帯に固定する手術もしています。お腹に穴を開けないので術後に痛みが少ないメリットがあります。悪性腫瘍手術も多数行っています。手術以外にも出産で条件を満たす方に無痛分娩も提供しています。骨盤臓器脱で保存療法希望の方には交換の痛みが少ないベッサリー療法も提供しています。これもオリジナルです。当院治療希望の方はお問い合わせください。紹介がない方も拝見しています。



当院の手術はひと味違います